

学芸員の研究発表など

講演「テレビ観望望遠鏡eVscopeの衝撃」

渡部 義弥(学芸員)

天文教育普及研究会 関東支部会(2022年3月9日)

本講演は、フランスUnistellar社が2019年に発売した、持ち運び式のテレビ観望望遠鏡eVscopeについて使用経験を紹介した。従来の望遠鏡とは格段に簡易な操作性とテレビ観望によって大都会でも銀河の渦巻きや星雲が楽々見える性能を踏まえ、今後の天体観望会や天文教育活動に多大な変化をもたらすと紹介した。また、観望会参加者が望遠鏡を操作する可能性、モダンな天体物理を学ぶことでおもしろくなる解説など活用のあり方を唱えた。

講演「大阪市立科学館がめざす第4次展示改装」

吉岡 克己(総務企画課長)

第13回全国理工系学芸員展示研究大会(2023年1月19日)

1989年の開館以来の当館展示改装の経緯と令和4年度までに進めてきた今次改装の考え方について、全国の科学館等でそれぞれの施設の展示更新を担う学芸員に向けて紹介した。

特に、理工系博物館の特殊性、来館者層の低年齢化とその弊害を整理した上で、当館の使命「科学を楽しむ文化の振興」、基本展示デザイン「本物・実物・生の現象」を示し、スローガン「他にない、みんなで科学を楽しむ、快適空間の構築」に向けて当館が目指す方向性を示した。



KONICA MINOLTA

私たちは「宇宙」を
作っている会社です。

— プラネタリウム生誕100周年 —

最新の光学・デジタル プラネタリウム機器の開発・製造から、
独自の番組企画・制作・運営/ノウハウに至るまで、
プラネタリウムという“スペース”の可能性を追求し続けてまいります。

コニカミノルタ プラネタリウム株式会社

本社・東京事業所 〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3 TEL (03) 5985-1711
大阪事業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区本町2-3-10 TEL (06) 6110-0570
東海事業所 〒442-8558 愛知県豊川市金屋西町1-8 TEL (0533) 89-3570
URL: <http://www.konicaminolta.jp/planetarium/>

画像：大阪市立科学館

講演「科学館における科学技術史資料の展示課題」

吉岡 克己(副館長)

日本科学史学会第70回年会(2023年5月28日)

日本科学史学会シンポジウム「博物館における科学技術史資料の展示をめぐる」において、シンポジウム主催の有賀氏(一橋大学)から依頼を受けて講演したものである。

吉岡からは特に地域の理工系博物館の現状について紹介し、地域の科学技術史資料の逸失を避けるために地域の科学館が担うべき役割と課題を整理した上で、これまでに実践した取り組みについて具体的に紹介した。

■編集後記■

11月の休館以来、展示改装のための作業が続いています。改装に備えて、展示場にある資料をすべて梱包して引き上げる作業をしつつ、合間に展示業者さんと詳細な打合せを行っています。間もなく本格的な工事が始まる予定です。(江越)

休館のお知らせ

2023年11/6(月)より、リニューアル工事等のため長期全館休館しています。皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

リニューアルオープンは、2024年夏の予定です。科学を楽しむ快適空間へと進化する科学館にご期待ください。

大阪市立科学館 <https://www.sci-museum.jp/>

電話:06-6444-5656 (9:00~17:30)

長期休館中(～2024年夏まで)

所在地:〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1



星の輝きで伝えることがある
五藤光学研究所 ■ 全天周デジタル配給作品

GOTO

五藤光学研究所
<https://www.goto.co.jp/>

まだ見ぬ 宇宙へ

企画:大阪市立科学館
©「まだ見ぬ宇宙へ」製作委員会